



お知らせ

記者発表資料
配布日

平成25年10月9日

■ 同時発表先：合同庁舎記者クラブ, 広島県政記者クラブ, 中国地方建設記者クラブ, 尾道記者クラブ

韓国と日本の高校生が瀬戸内海の環境と人工干潟の役割について学習します。

この度、広島大学附属高校の日韓交流事業として、尾道市の海老干潟において韓国と日本の高校生が瀬戸内海の環境と人工干潟の役割について学習することになりましたので、お知らせします。

海老干潟は、尾道糸崎港の整備に伴い発生した浚渫土砂を活用し、広島港湾・空港整備事務所が昭和63年から平成元年にかけて造成した干潟です。尾道糸崎港周辺では、百島、灘にも干潟を造成しており、現在も高尾で干潟の整備を進めています。

広島港湾・空港整備事務所では、当日、出前講座を行い、この事業に協力します。

記

- 開催日 平成25年10月13日（日）
○場 所 海老干潟及び浦島漁業協同組合（別添資料参照）
○参加者 ムンサン女子高校（11名）、広島大学附属高校（14名）ほか
○スケジュール 10:20頃～：干潟の生物観察
※場所；海老干潟
13:40頃～：干潟の役割等に関する学習
※場所；浦島漁業協同組合（尾道市浦崎町乙4175）

<問い合わせ先>

【担 当】国土交通省 中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所

(082) 254-6411（代表：平日・昼間）

副 所 長：秋 山 敬 吾（あきやま けいご）

工 務 課 長：吉 川 信 彦（よしかわ のぶひこ）



韓国と日本の高校生が瀬戸内海的环境と人工干潟の役割について学習します。



海老干潟



アマモ



ハクセンシオマキ



アサリ



アナジャコ



ヤドカリ



マテガイ

【開催日】 平成25年10月13日(日)

【場所】 海老干潟及び浦島漁業協同組合

【参加者】 ムンサン女子高校(11名)、広島大学附属高校(14名)ほか

【スケジュール】

10:20 海老干潟での実習

↳ 実習①: 干潟の生物の観察

11:20 実習②: 観察のまとめ

12:00 昼食(浦島漁業協同組合)

13:40 干潟造成と水産振興の関係についての学習

講話(浦島漁業協同組合)

↳ 講義①「港湾整備と干潟造成」(中国地方整備局 広島港湾・空港整備事務所)

講義②「干潟のはたらき」(広島県東部農林水産事務所)

15:30 質疑応答、代表生徒スピーチ、記念撮影

【会場位置図】

